

2017 年 12 月

2017-12-30 (Sat)

[Bunny]

警告は全部けした。hint は 3 つ残っているが、これらは今後。

src/Absyn.hs	151 lines	0 warnings	0 hint
src/CodeGen.hs	469 lines	0 warnings	2 hints
src/CompilerOpts.hs	91 lines	0 warnings	0 hint
src/Core.hs	44 lines	0 warnings	0 hint
src/DDumpAssump.hs	15 lines	0 warnings	0 hint
src/DDumpCore.hs	15 lines	0 warnings	0 hint
src/Desugar.hs	18 lines	0 warnings	0 hint
src/DictPass.hs	221 lines	0 warnings	0 hint
src/NameMangle.hs	27 lines	0 warnings	0 hint
src/Pattern.hs	121 lines	0 warnings	0 hint
src/PreDefined.hs	182 lines	0 warnings	0 hint
src/Semant.hs	904 lines	0 warnings	0 hint
src/STG.hs	78 lines	0 warnings	0 hint
src/Symbol.hs	39 lines	0 warnings	0 hint
src/TrCore.hs	257 lines	0 warnings	1 hint
src/TrSTG.hs	38 lines	0 warnings	0 hint
src/Types.hs	47 lines	0 warnings	0 hint
src/Typing.hs	644 lines	0 warnings	0 hint

	3361 lines	0 warnings	3 hints

Markdown Preview Plus

コードウォークスルーの資料は、GitHub Flavored Markdown で書くことにした。で、ローカルでのプレビューがしたくなって、Chrome 拡張をいれた。

chrome://extensions で、「ファイルの URL へアクセスを許可する」というのにチェックをいれないといけなかったのが、ポイントかな。

よい。

2017-12-28 (Thu)

[Bunny] リファクタリング情報採取

これからしばらくは、動作を変えないコード改善にいそしむことにしよう。

というわけで、行数、コンパイラの警告、hlint によるヒント数を採取するスクリプトを追加。

src/Absyn.hs	151 lines	0 warnings	0 hint
src/CodeGen.hs	454 lines	35 warnings	22 hints
src/CompilerOpts.hs	92 lines	1 warnings	1 hint
src/Core.hs	45 lines	0 warnings	2 hints
src/DDumpAssump.hs	15 lines	0 warnings	1 hint
src/DDumpCore.hs	15 lines	0 warnings	2 hints
src/Desugar.hs	18 lines	0 warnings	0 hint
src/DictPass.hs	221 lines	0 warnings	0 hint
src/NameMangle.hs	27 lines	0 warnings	1 hint
src/Pattern.hs	121 lines	34 warnings	7 hints
src/PreDefined.hs	192 lines	4 warnings	25 hints
src/Semant.hs	909 lines	13 warnings	0 hint
src/STG.hs	84 lines	18 warnings	2 hints
src/Symbol.hs	39 lines	0 warnings	4 hints
src/TrCore.hs	257 lines	0 warnings	1 hint
src/TrSTG.hs	65 lines	10 warnings	3 hints
src/Types.hs	51 lines	0 warnings	2 hints
src/Typing.hs	644 lines	7 warnings	18 hints

	3400 lines	122 warnings	91 hints

Parser.y, Lexer.x は含んでいません。

警告、ヒント数を減らしていくのはもちろんですが、やっぱり行数も減らしていきたい。

2017-12-23 (Sat)

SW8

STARWARS Episode 8 見てきた。なんか嫌だという人も多いらしいというので、少し覚悟していったのだけど、面白かった。わたしは、アリだと思う。

たしか前作のメイキングビデオで、Episode 7 のテーマは「継承」で、つぎは新しい物語に挑戦するみたいな事を監督が言っていたんだけど、その通り、チャレンジングでいいんじゃないでしょうか。

エンドロールは全部みたかったけど、いっしょに見た次男氏がトイレにいきたいというので、エンドロール

はじまってすぐ退場。ま、これは仕方がない。

[bunny] DictPass をきれいにしたい。

アドベントカレンダーむけに型推論を勉強して、Typing Haskell in Haskell や、Making ad-hoc polymorphism less ad hoc など何度も読み返したおかげで、型推論周りのコード理解が深まったと思う。

アドベントカレンダー向け記事の未稿部分を補いたいのもあるけど、自分のプロジェクトを先に進められそう、進めたい気持ちが高まったきたので、そっちに従うことにする。

前より読めるようになった目で DictPass.hs をみると、結構変なことをしている*1。Core 中の型に量化型変数が含まれるために、このモジュール内だけで用いるための、量化型変数対応版特殊 mgu, subst みたいなものを書いている。これは無駄だし、おかしい。

TGen が残ってしまった原因には、いくつかあって、TrCore において、Scheme から qt をとりだすときに、実体化しないまま単純に抜き出していたのがひとつ。

さらに、それに合わせるために、DictPass 中では、逆に実体をわざわざ quantify していた。

(ちなみに、Semant.hs における quantify まで取り除いたらだめなはず)

このあたりをあらためれば、DictPass 内でもふつうに mgu, apply を使えばいい。DictPass では一切 quantify いらぬ。

2017-12-20 (Wed)

新しい PC は、SSD250GB でいい感じなので、これを機に Haskell の開発環境を stack に移行。typeinference を stack 対応するのは、わりとすぐできたと思う。

ただ、Windows 32-bit 環境で stack は無理っぽかった。両方併用でいこう。

また、エヌユルさんの記事をみて、stylish-haskell と hlint 導入。

*1 書いているときも、結構変かもという自覚はあったんだけど、なにが正しいかわかってなかった